

FeelEvent バックエ ンド 管理画面詳細設計

1PAC. INC.

Version 0.1.0
2016-09-16

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. ディレクトリ構成 | 3 |
| 3. キャッシュ (Cells) | 4 |
| 4. Tips | 5 |
| 5. 開発するにあたって | 7 |
| 6. A-1 管理アカウント:新規登録 | 9 |
| 7. A-1-a 管理アカウント:新規登録 (処理) | 11 |
| 8. A-1-1 管理アカウント:新規登録 (本登録) | 12 |
| 9. A-2 管理アカウント:一覧 | 14 |
| 10. A-3 管理アカウント:編集 | 15 |
| 11. A-3-a 管理アカウント:編集 (処理) | 17 |
| 12. A-4 管理アカウント:削除 | 18 |
| 13. B-1 ログイン | 19 |
| 14. B-2 パスワード変更 (入力) | 22 |
| 15. B-2-a パスワード変更 (処理) | 24 |
| 16. B-3 パスワード再発行 (入力) | 26 |
| 17. B-3-a パスワード再発行 (処理) | 28 |

1. はじめに

本アプリケーションは **Feelnote** から派生して構築される **イベント情報サイト** のバックエンド詳細設計書になります。

1.1. 技術的備考

- **Feelnote** 側でもイベント情報を利用するため、テーブルはすべて **Feelnote DB** 内に構築します。
- **Feelnote** のサービス画面は **SPA (SinglePageApplication)** として提供しておりますが、本アプリケーションはイベント情報ページを一般公開するため SEO の観点から従来の **MPA (Multi Page Application)** タイプとして実装します。

1.2. System requirements

- Nginx
- Ruby 2.3.1
- Ruby on Rails 5.0.0.1
- MySQL 5.7系
- Redis

1.3. Coding guideline

- ベーススタイル
 - <https://github.com/fortissimo1997/ruby-style-guide/blob/japanese/README.md>
 - <https://github.com/fortissimo1997/ruby-style-guide/blob/japanese/README.ja.md>
- Rubyコーディングスタイル（ベーススタイルへの追加のガイド）
 - <https://github.com/styleguide/ruby>
- Railsコーディングスタイル
 - <https://github.com/bbatsov/rails-style-guide/blob/master/README.md>

1.3.1. ワンパクオリジナル

定義

- `class` 定義の下は改行がなしと統一する
- 最終行の `end` の間では空行なしと統一する

後置 if, unless 文の使い分け

条件式が埋もれても見やすくするために、以下の通り後置 if 文を使う最低限のルールを設ける(例外あり)

- `return`, `raise` するときなどそこで処理を中断して終わらせるときの条件を指定する場合に限定する。

```
return unless @user.signed_in?
```

- 処理をする場合や変数への代入してその後の処理が継続して下に行く場合は一行でも通常の if 文にする。

```
if @flow.init?  
  @user.assign_attributes @flow.get_data(:form)  
end
```

2. ディレクトリ構成

アプリケーション全体のディレクトリ、ファイル構成の説明です。

※主要なディレクトリ、ファイルを抜粋しています。

```

├── Gemfile      # Gem 管理・設定ファイル
├── Gemfile.lock # Gem 管理・設定のロックファイル
├── Rakefile     # ターミナルから実行可能なタスク
├── app/        # アプリケーションを格納するディレクトリ
│   ├── assets/    # スタイルシートや画像などを格納するディレクトリ
│   ├── cells/     # Cells gem 用のロジックを格納するディレクトリ
│   ├── controllers/ # コントローラを格納するディレクトリ
│   ├── helpers/   # ヘルパーを格納するディレクトリ
│   ├── mailers/   # メール用コントローラを格納するディレクトリ
│   ├── models/    # モデルを格納するディレクトリ
│   ├── serializers/ # ActiveModelSerializers gem 用のディレクトリ
│   └── views/     # ビューを格納するディレクトリ
├── config/     # プロジェクトの設定ファイルを格納するディレクトリ
│   ├── application.rb # すべての環境で共通の設定ファイル
│   ├── boot.rb      # 起動ファイル
│   ├── database.yml  # DB 設定ファイル
│   ├── environment.rb # 環境設定ファイル
│   ├── environments/ # 環境単位の設定ファイルを格納するディレクトリ
│   ├── initializers/ # 初期化ファイルを格納するディレクトリ
│   ├── locales/     # 辞書ファイルを格納するディレクトリ
│   └── routes.rb    # ルーティング設定ファイル
├── config.ru   # Rack の設定ファイル
├── db/        # DB の設定ファイルを格納するディレクトリ
├── doc/       # ドキュメントを格納するディレクトリ
├── lib/       # ライブラリを格納するディレクトリ
├── log/       # ログを格納するディレクトリ
├── public/    # Web サーバのドキュメントルート
├── spec/     # テスト(仕様)ファイルを格納するディレクトリ
├── tmp/      # キャッシュなど、一時的なファイルを格納するディレクトリ
└── vendor/   # 外部ライブラリを格納するディレクトリ

```

3. キャッシュ (Cells)

DB 操作などの処理を軽減するため、Cells gem のファイルキャッシュを利用します。

3.1. Cells とは

ロジック(コントローラ)とビュー(パーシャル)をセットで処理できる Gem で、例として、サイドバーのランキングなどで利用するイメージです。



Cells については下記 Github を参考
<https://github.com/apotonick/cells>

3.2. 使い方

- ロジック(コントローラ)ファイルの格納ディレクトリ
 - app/cells/
- ファイル名
 - *_cell.rb と後ろに _cell を含める

3.3. ビューファイルについて

公式では app/cells/ の中にビューファイルを置く形で説明されていますが、ビューファイルを集約したいため app/views/ 配下に格納します。

4. Tips

前章の Cells の他に利用している `Gem` の概要を説明します。

4.1. Decorator (Draper)

Model と View の間に Presenter(Draper) という中間層を設け、Model や View に余計なロジックが増えることをさけるための Gem です。

4.1.1. Example

app/decorators/user_decorator.rb

```
class UserDecorator < Draper::Decorator
  delegate_all

  def full_name
    "#{first_name} #{last_name}"
  end
end
```

app/views/me/sample.html.erb

```
<h1><%= @user.full_name %></h1>
```



Draper については下記 Github を参考
<https://github.com/drapergem/draper>

4.2. ActiveModelSerializers

ActiveModel を Serialize し、API の JSON 出力を整形するためのライブラリです。

4.2.1. Example

app/models/book.rb

```
class Book < ActiveRecord::Base
  belongs_to :publisher
  has_and_belongs_to_many :authors
end
```

app/serializers/book_serializer.rb

出力したい項目を、attributes に指定することで出力するデータを制御する

```
class BookSerializer < ActiveModel::Serializer
  attributes :id, :title, :price, :published_at, :publisher_id
end
```

app/controllers/books_controller.rb

```
def index
  @books = Book.all
  respond_to do |format|
    format.html
    format.json { render json: @books }
  end
end
```

上記サンプルの他に、条件に応じて出力内容を変えたり、Association の解決などさまざまな機能がありますので 適宜公式サイト等で使い方を確認してください。



ActiveModelSerializers については下記 Github を参考
https://github.com/rails-api/active_model_serializers

5. 開発するにあたって

開発するにあたって大きく下記2点を意識して開発を行います。

- RSpec を用いたテスト駆動開発を心がける。
- Pull-Request ベースで極力レビューを行う。

5.1. RSpec を用いたテスト駆動開発

本アプリケーションでは Rails デフォルトの Minitest ではなく、RSpec を用いてテストを行います。

- FactoryGirl
 - テストデータの機構として Rails デフォルトの Fixture がありますが、本アプリケーションでは FactoryGirl を利用
- Faker
 - ダミーデータを生成するための Gem

5.1.1. テストの種類

- 単体テスト
 - 主に Model や Decorator、Helper などのメソッドのテストを行う
- コントローラテスト
 - render_views でビューの生成まで行うことでビューで存在しないメソッドを実行するなどの不具合を潰せるようにする



参考本

Everyday Rails - RSpecによるRailsテスト入門
<https://leanpub.com/everydayrailsrspec-jp/read>

5.2. Pull-Request ベースの開発とレビュー

適切な粒度で作業ブランチを切り、適切な粒度でコミットをつくり、手元の開発環境でしっかりテストを行った上でレビューを依頼しましょう。
基本はレビューが完了してからマージを行います。

5.2.1. レビュー状態に持っていく前に確認すること

下記のような点を確認し、レビュー者にレビューの依頼を投げましょう。

- ブランチのテーマとは関係のないコードが含まれていないか
- コミットメッセージは簡潔かつ分かりやすいか
- 責務に応じてリファクタリングされているか
- メソッドを不必要にpublicにしていないか
- コードは読みやすいか/分かりやすいか
- クラス/メソッド/変数の名前は適切か
- 既存コードとの重複はないか
- 既存コードに影響を及ぼさないか
- コメントが必要な箇所はないか
- デバッグ用のコードは残っていないか
- もっとよいコードにできないか
- ファイル名は適切か
- 不要なファイルをコミットしていないか
- typoはないか
- コーディング規約に則っているか
- バリデーションは適切か
- セキュリティ上のリスクはないか
- フレームワークのルールから外れていないか
- ライブラリで代替できる処理はないか
- 将来的な負債は予期されないか
- トランザクションが必要な箇所はないか
- キャッシュが必要な箇所はないか
- 不必要なSQLを発行していないか
- テストケースは十分か
- 境界条件で正常に動作するか
- エラーハンドリングは必要な箇所で行なわれているか

6. A-1 管理アカウント:新規登録

6.1. 基本情報

| | |
|--------------|--|
| メソッド,URL | GET /admin/users/new |
| コントローラ,アクション | admin/users/registrations#new |
| ルート名 | new_admin_user_registration |
| ビュー | admin/users/registrations/new.html.erb |

6.2. 特記事項

- このページはスーパーユーザ(`event_admin_users.user_type` が `super_user`) のアカウントのみが利用できる

6.3. リクエスト

- 下記フォーム定義を参照

6.4. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

6.4.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

6.5. 仕様

1. フォーム

- フォーム定義書の各フィールドを出力する

2. 送信ボタン

- A-1-a へ POST 送信する

6.6. フォーム定義

| ID | 項目名/フィールド名 | フォーム種別 | 必須 | 備考 |
|----|--|----------|-----------------------|----|
| 01 | 姓 <i>user[last_name]</i> | text | <input type="radio"/> | |
| 02 | 名 <i>user[first_name]</i> | text | <input type="radio"/> | |
| 03 | メールアドレス <i>user[email]</i> | email | <input type="radio"/> | |
| 04 | パスワード <i>user[password]</i> | password | <input type="radio"/> | |
| 04 | パスワード(確認用) <i>user[password_confirmation]</i> | password | <input type="radio"/> | |

7. A-1-a 管理アカウント:新規登録 (処理)

7.1. 基本情報

| | |
|--------------|---|
| メソッド,URL | POST /admin/users |
| コントローラ,アクション | admin/users/registrations#create |
| ルート名 | admin_user_registration |
| ビュー | なし |
| メールビュー | admin/users/mailer/ confirmation_instructions.html.erb |

7.2. 特記事項

- このページはスーパーユーザ(`event_admin_users.user_type` が `super_user`) のアカウントのみが利用できる

7.3. リクエスト

- A-1 フォーム定義を参照

7.4. 仕様

- 成功時(バリデーションが通った時)
 - 仮登録処理は `Devise` の処理に任せる
 - メール送信処理も `Devise` に含まれる
 - A-2 ヘリダイレクトし、フラッシュメッセージを表示する
- 失敗時(バリデーションに引っかかった時)
 - A-1 の入力画面でエラーを表示する

8. A-1-1 管理アカウント:新規登録 (本登録)

8.1. 基本情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| メソッド,URL | GET /admin/users/confirmation |
| コントローラ,アクション | admin/users/confirmations#show |
| ルート名 | new_admin_user_confirmation |
| ビュー | なし |

8.2. 特記事項

- こちらのページは未ログイン状態でアクセスするため、スーパーユーザの権限チェック処理は行わない

8.3. リクエスト

| パラメータ名 | 説明 | 必須 | 備考 |
|--------------------|------|----|----|
| confirmation_token | トークン | ○ | |

8.4. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

8.4.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

8.5. 仕様

- 成功時(バリデートを通った時)
 - 本登録などの処理は `Devise` の処理に任せる
 - ユーザタイプ(`event_admin_users.user_type`)は `normal_user` として作成する
 - 登録完了後に `B-1` に遷移する
- 失敗時(バリデートに引っかかった時)
 - `admin/users/confirmations/new.html.erb` の入力画面でエラーを表示する

9. A-2 管理アカウント:一覧

9.1. 基本情報

| | |
|--------------|----------------------------|
| メソッド,URL | GET /admin/users |
| コントローラ,アクション | admin/users#index |
| ルート名 | admin_users |
| ビュー | admin/users/index.html.erb |

9.2. 特記事項

- このページはスーパーユーザ(`event_admin_users.user_type` が `super_user`) のアカウントのみが利用できる

9.3. リクエスト

- なし

9.4. 仕様

1. 一覧

- ID、指名、メールアドレスを表示する
- 編集ボタン
 - `A-3` へ遷移する
- 削除ボタン
 - JavaScript でConfirmを表示し、OKの場合は `A-4` へ DELETE 送信する

10. A-3 管理アカウント:編集

10.1. 基本情報

| | |
|--------------|--|
| メソッド,URL | GET /admin/users/:event_admin_user_id/edit |
| コントローラ,アクション | admin/users#edit |
| ルート名 | edit_admin_user |
| ビュー | admin/users/edit.html.erb |

10.2. 特記事項

- このページはスーパーユーザ(`event_admin_users.user_type` が `super_user`) のアカウントのみが利用できる

10.3. リクエスト

- 下記フォーム定義を参照

10.4. 仕様

1. フォーム

- フォーム定義書の各フィールドを出力する

2. 送信ボタン

- `A-2` へ POST 送信する

10.5. フォーム定義

| ID | 項目名/フィールド名 | フォーム種別 | 必須 | 備考 |
|----|------------------------------------|--------|-----------------------|----|
| 01 | 姓 <code>user[last_name]</code> | text | <input type="radio"/> | |
| 02 | 名 <code>user[first_name]</code> | text | <input type="radio"/> | |
| 03 | メールアドレス | email | <input type="radio"/> | |

| ID | 項目名/フィールド名 | フォーム種別 | 必須 | 備考 |
|----|--|----------|----|----|
| | <i>user[email]</i> | | | |
| 04 | パスワード <i>user[password]</i> | password | | |
| 04 | パスワード(確認用) <i>user[password_confirmation]</i> | password | | |

11. A-3-a 管理アカウント:編集 (処理)

11.1. 特記事項

- このページはスーパーユーザ(`event_admin_users.user_type` が `super_user`) のアカウントのみが利用できる

11.2. 基本情報

| | |
|--------------|--------------------|
| メソッド,URL | POST /admin/users |
| コントローラ,アクション | admin/users#update |
| ルート名 | なし |
| ビュー | なし |

11.3. リクエスト

- A-3 フォーム定義を参照

11.4. 仕様

- 成功時(バリデートが通った時)
 - 対象レコード(`event_admin_users`)を更新する
 - A-2 ヘリダイレクトし、フラッシュメッセージを表示する
- 失敗時(バリデートに引っかかった時)
 - A-3 の入力画面でエラーを表示する

12. A-4 管理アカウント:削除

12.1. 基本情報

| | |
|--------------|--|
| メソッド,URL | DELETE /admin/users/:event_admin_user_id |
| コントローラ,アクション | admin/users#destroy |
| ルート名 | destroy_admin_user |
| ビュー | なし |

12.2. 特記事項

- このページはスーパーユーザ(`event_admin_users.user_type` が `super_user`)のアカウントのみが利用できる

12.3. リクエスト

- なし

12.4. 仕様

- 成功時(バリデーションが通った時)
 - 対象レコード(`event_admin_users`)を論理削除する
 - A-2 ヘリダイレクトし、フラッシュメッセージを表示する
- 失敗時(バリデーションに引っかかった時)
 - A-2 ヘリダイレクトし、フラッシュメッセージを表示する

13. B-1 ログイン

13.1. 基本情報

| | |
|--------------|-----------------------------------|
| メソッド,URL | GET POST /signin |
| コントローラ,アクション | admin/users/sessions#new, create |
| ルート名 | new_admin_user_session |
| ビュー | admin/users/sessions/new.html.erb |

13.2. リクエスト

- 下記フォーム定義を参照

13.3. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

13.3.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

13.4. 仕様

1. メールアドレス

- email フィールドとして input タグを出力

2. パスワード

- password フィールドとして input タグを出力
- エラーで同画面に戻ってきた際は値を保持しない

3. 自動ログイン

- checkbox として input タグを出力
- デフォルトは未選択状態

4. ログインボタン

- ログイン成功時
 - セッション発行などの処理は Devise の処理に任せる
 - B-1 へリダイレクトする
- ログイン失敗時
 - 同画面を表示し、適宜エラーを表示する

13.5. フォーム定義

| ID | 項目名/フィールド名 | フォーム種別 | 必須 | 備考 |
|----|---------------------------------------|----------|----|----|
| 01 | メールアドレス <i>user[email]</i> | email | ○ | |
| 02 | パスワード <i>user[password]</i> | password | ○ | |
| 03 | ログイン情報の保持 <i>user[remember_me]</i> | checkbox | | |

14. B-2 パスワード変更 (入力)

14.1. 基本情報

| | |
|--------------|------------------------------------|
| メソッド,URL | GET /admin/password/new |
| コントローラ,アクション | admin/users/passwords#new |
| ルート名 | new_admin_user_password |
| ビュー | admin/users/passwords/new.html.erb |

14.2. リクエスト

- 下記フォーム定義を参照

14.3. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

14.3.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

14.4. 仕様

1. メールアドレス

- `email` フィールドとして `input` タグを出力

2. 送信ボタン

- `B-2-a` へ POST 送信する

14.5. フォーム定義

| ID | 項目名/フィールド名 | フォーム種別 | 必須 | 備考 |
|----|-------------------------------|--------|-----------------------|----|
| 01 | メールアドレス <i>user[email]</i> | email | <input type="radio"/> | |

15. B-2-a パスワード変更 (処理)

15.1. 基本情報

| | |
|--------------|---|
| メソッド,URL | POST /admin/password |
| コントローラ,アクション | admin/users/passwords#create |
| ルート名 | admin_user_password |
| ビュー | admin/users/passwords/new_complete.html.erb |
| メールビュー | admin/users/mailer/ reset_password_instructions.html.erb |

15.2. リクエスト

- B-2 フォーム定義を参照

15.3. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

15.3.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

15.4. 仕様

- 成功時(バリデートが通った時)
 - パスワード再設定準備などの処理は `Devise` の処理に任せる
 - メール送信処理も `Devise` に含まれる
 - テンプレートは適宜文言の差し替え処理を行う
- 失敗時(バリデートに引っかかった時)
 - `B-2` の入力画面でエラーを表示する

16. B-3 パスワード再発行 (入力)

16.1. 基本情報

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| メソッド,URL | GET /admin/password/edit |
| コントローラ,アクション | admin/users/passwords#edit |
| ルート名 | edit_admin_user_password |
| ビュー | admin/users/passwords/edit.html.erb |

16.2. リクエスト

- 下記フォーム定義書を参照

16.3. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

16.3.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

16.4. 仕様

1. 全体仕様

- トークンチェックなどの処理は `Devise` の処理に任せる

2. パスワード

- `password` フィールドとして `input` タグを出力
- エラーで同画面に戻ってきた際は値を保持しない

3. パスワード(確認)

- password フィールドとして input タグを出力
- エラーで同画面に戻ってきた際は値を保持しない

16.5. フォーム定義

| ID | 項目名/フィールド名 | フォーム種別 | 必須 | 備考 |
|----|---|----------|----|----|
| 01 | パスワード <i>user[password]</i> | password | ○ | |
| 02 | パスワード <i>user[password_confirmation]</i> | password | ○ | |

17. B-3-a パスワード再発行 (処理)

17.1. 基本情報

| | |
|--------------|------------------------------|
| メソッド,URL | PATCH /admin/password |
| コントローラ,アクション | admin/users/passwords#update |
| ルート名 | (default) |
| ビュー | なし |

17.2. リクエスト

- B-3 フォーム定義を参照

17.3. 特記事項 (Devise)

本ページはユーザ管理・認証を行う `Devise` gem を利用して実現します。



Devise については下記 Github を参考
<https://github.com/plataformatec/devise>

17.3.1. Devise 設定情報

- 対象のテーブルは `event_admin_users`
- 対象のログインキーのカラムは `email`
- 対象のパスワードのカラムは `password (encrypted_password)`

17.4. 仕様

- 成功時(バリデーションを通った時)
 - パスワード再設定準備などの処理は `Devise` の処理に任せる
 - メール送信処理も `Devise` に含まれる
 - テンプレートは適宜文言の差し替え処理を行う
- 失敗時(バリデーションに引っかかった時)
 - B-3 の入力画面でエラーを表示する